

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成28年4月14日(2016.4.14)

【公開番号】特開2015-76581(P2015-76581A)

【公開日】平成27年4月20日(2015.4.20)

【年通号数】公開・登録公報2015-026

【出願番号】特願2013-213778(P2013-213778)

【国際特許分類】

H 01 S 5/042 (2006.01)

【F I】

H 01 S 5/042 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月24日(2016.2.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

光送信回路22は、入力バッファ回路41およびLDD(Laser Diode Driver:レーザダイオード駆動回路)42を有して構成され、信号処理回路21から供給される差動電圧信号を電流信号に変換して、その変換した信号を光通信用光源23に供給する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 3】

このように、LDD42は、上述したような多くの電流が発生することを回避し、平均消費電流 I_b 分の電流だけを消費することができるよう構成されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 5】

光送信回路213は、N個の送信機221-1乃至221-Nを備えており、送信機221-1乃至221-Nに光通信用光源222-1乃至222-Nがそれぞれ接続されている。送信機221-1乃至221-Nは、入力バッファ回路41およびLDD42をそれぞれ備えており、信号処理部212から供給される差動電圧信号に従って、光通信用光源222-1乃至222-Nに電流信号を並列的に供給する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 6】

このように構成される光送信装置211において、低消費電力で、並列的に光送信する

ことができる。なお、図19の光送信回路213は、送信機221-1乃至221-Nおよび光通信用光源222-1乃至222-Nを備えて構成されているが、例えば、光送信回路213としては、送信機221-1乃至221-Nだけを備える構成とし、光送信回路213に対して光通信用光源222-1乃至222-Nが接続されるようにしてもよい。また、光送信回路213が、信号処理部212および送信機221-1乃至221-Nを備える構成としてもよい。また、光送信回路213が、信号処理部212、送信機221-1乃至221-N、および光通信用光源222-1乃至222-Nを備える構成としてもよい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0110

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0110】

信号強度測定部331は、受光素子314からトランスインピーダンスアンプ332に供給されるシングルエンドの電流信号の強度を測定する。